

<第182号>

事務局だより

平成30年7月10日発行

現在の会員数

合計 200名

(男性 136名)

(女性 64名)

□ 「安全・適性就業／熱中症予防強化月間」

今月は安全・適性就業及び熱中症予防の強化月間です。就業中及び就業途上の事故防止に努め、自身の健康状態に注意して行動しましょう。

全国のシルバーで発生した、平成29年度における重篤事故は46件。内訳は、死亡事故が33件、6か月以上の入院が13件です（全シ協調べ）。就業途上の交通事故や、就業中に不注意で転落、転倒した事故が多く、安全帽を着用していれば致命傷にならなかったと見られています。

当センターでは、重篤事故こそ無いものの、今年度に入ってすでに3件の事故が発生しています。いずれも賠償責任事故（物損事故）であり、幸い就業会員に怪我はありませんでした。今後事故を起こさないために、以下の点に心がけて就業しましょう。

☆安全第一・安全確保！

☆油断禁物・慣れと過信に要注意！

☆自己管理・休み時を逃さずに！

万が一、事故や怪我が発生した場合は、どんな小さな事でも必ずすぐに事務局へ連絡してください。また、もしもの時のために、事務局の緊急連絡先をメモしておきましょう。※裏面下部に記載しています。

～熱中症対策～

☆こまめに「水分と適度な塩分」を補給する。

☆帽子を被り、通気性の良い涼しい服装を心がける。

☆風通しの良い涼しい場所で休憩をとる。

※日陰を求めて、他人の敷地内に無断で入らないでください。

作業時、休憩時に関わらず、もし敷地に入る場合は必ず一言断りを入れましょう。

□互助会からのお知らせ

◇日帰り研修旅行について

今年の日帰り研修旅行は、8月30日（木）を予定しています。

研修場所は、西目屋村『津軽ダム見学』及び弘前市『高岡の森 弘前藩歴史館』、昼食は嶽温泉 山のホテルでマタギ飯と岩魚の塩焼きです。

詳細は、8月の事務局だよりでお知らせします。

□理事長のつぶやき ～ “あれよ、あれあれ？” ～

人生も歳を重ねると（自分も仲間入り）、物忘れがひどくなるということをよく聞く話である。今年5月に、15年程前職場で一緒に机を並べた連中が集って、久しぶりに「酒」を口にした。その中で出てきたのが、えーと誰だったっけ？何だったっけなあ？あれよ、あれあれ？という言葉がかなり多くなって、家族に不評を買っているという話。それで結局「知らない」と言われると、自分自身辛くて嫌になることもあるというのである。

特に、共通の話をしていて名前が出てこなくて思い出せない時は、イライラが募るもので、「えーとほら、あれよあの時に来た人」「そうそうあれだ」などお互いに忘れてしまっているが、しかし「あれ」だという事はお互い分かっている。その事を棚に上げているのだ。そんな時は「お前の言いたい事は痛いほど分かる」と言うと大笑いになる。

普通は歳をとって、認知症になって初めてボケたと言う事だが、あれがという言葉が出始めると、少しあの世に近づいているのではという恐れもあるらしい。

人間は元来、物を忘れる動物らしく、忘れる事も多い反面、覚える能力も兼ね備えているという。現代は、科学技術の急激な進歩により、AIやロボットが日常化しているが、人間の持っている能力、特に年寄りはいこれまでの経験や知識、何事にも対応できる予測不能な不思議な動物らしい、と言う人もある。

仲間が集まると、良い事はもちろん悪口をはじめ、普段は人前では言えない事も遠慮なしに出てくるもので、ボケの波が留まる事はなく、ただただ笑いに変えてしまうから楽しいと思った会合であった。

その中でボケ老人という言葉が何回も出てきたが、ボケは漫才ではツッコミの相手であり、間の抜けた言葉で笑いをとるという役目があるので、私はこれを“笑顔の老人”という言葉にしたいと思う。

しかし、今も毎日のように『あれよ、あれあれ』は続いているが・・・・・・・・。

発行 公益社団法人黒石市シルバー人材センター

〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1

TEL 0172-52-5131

緊急連絡先 080-6011-5131